

第 235 回
定例探鳥会

日時：2006 年 7 月 9 日 (日) 天候：雨ときどき曇
コース：高来神社 化粧坂 水道山 楊谷寺谷戸横穴群

今朝も雨が降っています。これで 5 月から 3 ヶ月、定例探鳥会の日は雨天が続いています。それでもめげずに参加者が次々と集まってきます。皆さんの熱意に応えようと、今回も山へは登らずに歩くことにしました。

集合時間前、神社境内の大きな木の中を見慣れない鳥が動いていました。枝に移り全身が見えるようになったところでオオルリ()の幼鳥と分かりました。全身が灰色っぽい褐色でしたが、わずかに青色の部分が出ていたのでオオルリの と判定しました。残念ながら見ることはできなかったのは、7 時前に来ていた 3 人だけでした。

住宅地を歩いていると電線にツバメがとまっていた。その中に 3 羽の幼鳥が混ざっており、羽を振るわせて親鳥に食べ物をおねだるしぐさが見られました。住宅地から水道山の方へ向かいました。雨は小雨に変わり、ときどきは傘をささずに歩けるようになってきました。雨のためか鳥の気配は少ないのですが、上空を海の方へ飛ぶアオバト、林の中を移動するコゲラ、メジロやカラ類が見られ、アオゲラ、キビタキ、ウグイスの声も聞こえました。再び住宅地へ出るとムクドリの子が電線にとまっていた。すべてが幼鳥で 9 羽を数えました。住宅地を抜けて湘南平へ向かう森の中の山道で、ギツという声が聞こえました。もしかしたらと木々の中を探すとお腹の白い黒っぽい鳥が見つかりました。サンコウチョウの でした。なかなか姿を見ることができないのでみんなで探していると、「尾羽の長い がいる」とか「若いのもいる」という声が聞こえてきました。徐々に近づいてきてよく見えたところで整理すると との成鳥、アイリングのハッキリしない若鳥がいることが確認できました。3 羽がギツギツと鳴きながら木の間を盛んに飛び回る様子を観察して楽しんでいると、「雛もいるよ！」と誰かの声が…。ヒョットしたら我々が巣の近くに来てしまい、警戒のために鳴きながら飛び回っているのではないかと思い、その場を立ち去ることにしました。雨にも負けずに歩いた我々へのプレゼントを貰ったようです。



参加者		参加人数 20 名 (敬称略)			
1. 下倉 紘一	2. 鈴木 逸子	3. 古尾谷 七郎	4. 山田 文則	5. 薬丸 薫	
6. 武末 範子	7. 別所 三郎	8. 吉田 宣子	9. 大城 美津江	10. 大谷 秋代	
11. 八木 正	12. 片倉 暹	13. 高島 宣夫	14. 関谷 育雄	15. 亀井 梨花	
16. 中村 豪夫	17. (田端 裕)	18. (金子 典芳)	19.(内山 規矩雄)	20. (岩佐 昌夫)	
見聞きした鳥		種類数 21 種 (sp を含む)			
1. キジバト	2. アオバト	3. ドバト	4. コゲラ	5. アオゲラ	
6. ツバメ	7. イワツバメ	8. ヒヨドリ	9. ウグイス	10. キビタキ	
11. オオルリ	12. サンコウチョウ	13. シジウカラ	14. ヤマガラ	15. メジロ	
16. カワラヒワ	17. スズメ	18. ムクドリ	19. ハシボソガラス	20. ハシブトガラス	
21. ガビチョウ					

企画展「アオバトのふしぎ」～ 盛況のうちに閉幕

5月28日(日)から大磯町郷土資料館で開かれていた企画展「アオバトのふしぎ」が7月30日(日)に最終日を迎えました。この日は早朝から関連行事の「アオバト観察会」も行われました。前日の7月29日(土)にはきれいな照ヶ崎にお客さんを迎えようと、早朝6時から砂浜のゴミ拾いをしました。プラスチックゴミを主体に拾い集めました。総勢16名で取り掛かって40分くらいできれいな砂浜に変身しました。翌日の観察会には午前5時頃から多くの人々が訪れて、次々と飛来するアオバトの群れに見入っていました。9時頃には日本野鳥の会東京支部の人約70名も合流して砂浜は人でいっぱいになってしまいました。金子さんと斎藤さんによるアオバトの解説、郷土資料館の北水さんによる企画展の宣伝には大勢の方が熱心に聞き入っていました。



大磯町郷土資料館とこまたんの共催という形で行われた「アオバトのふしぎ」展は7月30日に終了しました。途中で燻場のための休館日をはさんで前期・後期それぞれ24日間の会期でした。会期中の総入館者数は4,682人(前期2,637人・後期2,045人)でした。7月の入館者数は今までの最高記録だったそうです。新聞、テレビ、雑誌などで取り上げ、紹介して下さった効果があったのでしょうか? 一日の入館者数としては第1位が5月28日の開催初日(314人)、第2位は前期最終日の6月25日(195人)、第3位は最終日の7月30日(189人)でした。会期中は雨の日が多かったためか平日に来館される人は多くはなかったようです。それでも一日平均97~98人の人が訪れてくれました。大磯町周辺の地元の方はもちろんですが、遠方(北海道、東京、埼玉、愛知、京都、大阪、山口、奄美大島など)からのお客さんも多数みえました。アオバトの調査を通じて形成されていく「アオバトの環」の全国的な広がりを感じました。

郷土資料館や照ヶ崎に来られた方とお話してみると、アオバトを見てから展示会に行った人、展示会を見て実物のアオバトを見なくなった人などさまざまでした。展示会の後で本物を見た人からは、写真より美しいという声が多く聞くことができました。まさに「一見は百聞にまさる」ですね。この展示を通して初めてアオバトを知ったので、ぜひとも実物を見たいという声も多かったです。

こまたんメンバーもこのように大掛かりな展示会は初めての経験でした。会期中は土・日曜はもちろん平日も会場に顔を出す人が多く、来館者への説明に張り切っていました。中には説明の声が大きくてビデオの声が聞こえないという感想文もありました。後期にはテレビを廊下に移しましたが、展示もビデオも両方とも落ち着いて見ることができるようになったと好評でした。



来館された方の感想文・意見を読ませていただきましたが、アオバト調査に対する多数の励ましの言葉やお褒めの言葉をいただきました。これを元気の源としてこまたんはますますアオバトにのめりこんでいきます。大変ありがとうございました。下のお知らせにも書きましたが、照ヶ崎海岸での「アオバト観察会」とひらつか市民活動センターでの「アオバト展」が開催されます。こちらにも是非お越しください。アオバト展で初公開の照ヶ崎海岸を360度見ることができる大パノラマ写真は一見の価値があります。

【お知らせ】

アオバト展

大磯町郷土資料館の「アオバトのふしぎ」展の展示物の一部を平塚でも展示します。

「アオバトとは?」「なぜ海水を飲むの?」がメインテーマです。郷土資料館では見られなかった幅3mの照ヶ崎の大パノラマ写真は初公開です(アオバトファンは必見!)。

期 日 : 8月26日(土) ~ 9月23日(土)...8/26は午後から展示品の飾りつけです

場 所 : ひらつか市民活動センター(平塚駅南口 JAビル 2階)

時 間 : 午前9時 ~ 午後10時

照ヶ崎アオバト観察会

8月、9月の最終日曜日にアオバト観察会を行います。開催時間中の都合の良い時間にお出かけください。こまたんメンバーが望遠鏡を据え付けて待っていますので、特に必要な道具はありません。砂浜は日を遮る場所がありませんので帽子と飲み物はお忘れなく。

日 時 : 8月27日(日)・9月24日(日) 午前6時から9時頃まで

場 所 : 大磯町照ヶ崎海岸(大磯漁港西側の堤防の下)

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 2006年9月2日(第1土曜日)

鷹取山 2006年9月9日(第2土曜日)

午前6時に高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合、車で移動します。または6時15分までに、第1土曜日は松岩寺駐車場、第2土曜日は東の池に直接来られても結構です。参加の連絡は不要ですが、いずれも時間が来れば出発してしまいますので、時間厳守をお願いします。午前中に解散。雨天中止。

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

照ヶ崎海岸のアオバト飛来状況

日付	天気	観察時間		飛来回数	飛来数				瞬間最大
		開始	終了				不明	合計	
7/9		6:00	10:00	12	-	-	61	61	15
7/15		3:50	10:00	75	-	-	753	753	50
7/16		6:00	10:00	62	-	-	1417	1417	86
7/17		6:00	10:00	24	-	-	176	176	36
7/22		4:00	11:00	49	-	-	478	478	34
7/23		5:00	11:00	69	-	-	1038	1038	106
7/26		6:00	10:00	60	-	-	1022	1022	60+
7/27		6:00	10:00	64	-	-	1159	1159	150+
7/28		6:00	10:00	60	-	-	802	802	35
7/29		7:00	10:00	46	-	-	520	520	60
8/1		6:00	10:00	53	-	-	823	823	60+
8/3		6:00	10:00	67	-	-	750	750	33

天気が悪く気温が低い日が続いているためか、アオバトの飛来数が例年より少ない。7/16に幼鳥と見られる個体が飛来(幼鳥の初認)。上記の観察期間内で7/26には5羽、7/28には7羽、8/1には9羽、8/3も9羽と徐々に幼鳥の数が増えている。

花水川・平塚大橋付近のサギねぐら調査

観察日	天気	アオサギ	ダイサギ	チュウサギ	アマサギ	コサギ	ゴイサギ	ササゴイ	合計
6/30		1	0	0	0	1	1	0	3
7/7		9	0	0	0	5	1	0	15
7/12		6	0	0	1	4	4	0	15
7/22		11	1	0	0	30	6	0	48
7/31		7	2	1	0	45	8	0	63
8/1		3	8	2	2	41	17	2	75

急に数が増えてきた。子育てが終わり、子供も含めて絶対数が一時的に増えたのか？ 稲が繁ってきて採餌が難しくなってきたのか？ ムクドリは全く姿を見せていない。

その他の野鳥情報

コムクドリ：7/25花水川の平塚大橋と東雲橋付近で幼鳥17羽を発見。その後もこの周辺で観察されており、7/26に29羽、7/27には129羽、7/31は300+羽を観察。平塚大橋から新霞橋の間で夕方に見られることが多い。幼鳥と成鳥が混じっている。

次回の定例探鳥会は2006年9月10日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第234号 / 8月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>